

北中通信

- ・【創造】疑問をもとに生きて働く知恵を創り出し、表現する
- ・【友愛】他人の気持ちを想像し、人のために尽くす
- ・【誠実】誠実に自分の役割を果たす
- ・【健康】強い心と体をもち自分を信じて挑戦し続ける

No.11 「第一回学校評価を振り返る」

2017/9/20 文責:校長 荻野 桂司



第二回学校評議員会議を開催しました。

9月7日(木)に今年度二回目の学校評議員会議を開催しました。当日は、5名の学校評議員(萩原区長様、佐保民児協会長様、金井公民館長様、折茂小野小PTA副会長様、新井本校前々PTA会長様)の皆様にお集まりいただき、給食の試食や学習参観も兼ねながら会議を行いました。

会議では、一学期末に実施した学校評価アンケートの集計結果を基に、学校経営目標の実現に向けた一学期の取組についてご意見や要望等をいただきました。本校では、学校評議員の皆様の声を「関係者評価」として整理し、二学期からの教育活動に反映させてまいります。

今回の学校通信では、「第一回学校評価」や「関係者評価」の概要をお伝えするとともに、課題の解消に向けた対応策についてお知らせいたします。

第一回学校評価から

* 数値は、「よく当てはまる」「大体あてはまる」と答えた人数の割合。

* 生徒、保護者の%の数値は、1年生から3年生までの合計の割合。

◇質問項目の7割以上で評価結果が向上(昨年度比)

アンケート全体を振り返ると、昨年度の第一回学校評価に比べ、生徒及び保護者に対する質問項目のうち7割以上の項目で、「よく当てはまる」「大体あてはまる」と回答した人の割合が上昇しました。全体的には、一学期の取組状況に積極的な評価が得られていると言えます。

◇生徒の自覚と行動により改善が見られている項目

- 「時や場・相手に応じて適切な言葉遣いができる生徒に育っている」

【 生徒97% 保護者93% 地域94% 】

- 「学校のきまりや地域社会でのマナーを守って生活する生徒に育っている」

【 生徒95% 保護者97% 地域100% 】

生徒会を中心とした挨拶運動、集会・学級・部活動での指導を通して、中学生として適切な言葉遣いや行動が身に付きつつあるようです。また、相手にしっかりと聞こえる大きさの声で挨拶したり話したりすることについては、引き続き生徒の自覚と実践を促すよう働きかけていきます。

◇家庭や地域との連携に向けて改善が見られている項目

- 「学校や生徒の様子を保護者や地域に伝えている」

【 生徒91% 保護者97% 地域95% 】

- 「保護者は、学校に連絡や相談がしやすいと思っている」 【 保護者96% 】

学校や学年の通信で学校の取組を伝えるだけでなく、担任からの電話連絡やWebページ等を通して、生徒の日常的な活動の様子をその時々伝えよう工夫し、家庭や地域との連携を深めています。

また、生徒の成長を支え合う関係を深めるために、学校やPTA、地域の行事の中で、教職員と保護者、地域の方々との交流の場をつくっていきます。

◆学校として、さらに生徒に働きかける必要がある項目

○「今すべきことを意欲的に取り組む生徒に育っている」

【 生徒79% 保護者83% 職員80% 】

本校では、キャリア教育を通して、生徒が志をもち自ら生き方を切り拓くために必要な態度や能力の育成を図っていますが、目標を持って、自分から進んで課題を解決していこうとする意欲や積極性については、まだまだ一人一人の生徒に定着していない状況です。生徒会や委員会の活動、学校行事の中で生徒の役割や取組を明確にし、活躍できたことや成長したことを生徒が振り返る場を設定することで、自ら「感じ・考え・行動する」生徒を育てていきます。

○「いじめや差別のない学校づくりに取り組んでいる」

【 生徒78% 保護者86% 職員100% 】

生徒、保護者、職員の数値は、昨年度の第1回、第2回の学校評価より向上しました。しかし、すべての生徒が安心していきいきと過ごすことのできる学校づくりのためには、引き続き生徒の心を育む教育活動を充実させていく必要があります。人権教育旬間の活動や道徳の時間の充実に計画的に取り組み、互いの良さを認め合える人間関係づくり・学級づくりに努めるとともに、スクールカウンセラーや心の教室相談員による日常的な相談環境を整えることにより、生徒の悩みや困り感に組織的に対応していきます。

◆学校と家庭とが役割を分担して取り組む項目

○「家庭で自主的に学習や読書をする習慣が生徒に身に付いている」【 生徒71% 保護者72% 】

○「生徒は時間を守り、秩序ある行動をしている」【 生徒82% 保護者61% 】

各教科の基礎・基本を確実に理解していくためには、家庭学習を習慣としていく必要があります。本校では、毎日取り組む共通の課題(漢字、英語単語の書き取り)を設定し、家庭での学習の量と質とが確保できるよう指導していきます。「家庭学習の手引き」(平成29年版)を参考に、ノーメディア(テレビやゲーム、スマホ等を制限する)の時間を設けるなど、学習に集中できる環境づくりにご協力をお願いします。

○「生徒は、家族や地域の一員としての役割を持って生活している」【 生徒66% 保護者79% 】

保護者の評価に比べ、生徒は自分の役割を意識しづらようです。家事等の手伝いを任されることは「自分は家族の力になっている」という自覚(自己有用感)を実感できる機会となります。また、季節ごとの地域行事や市の体育行事、防災訓練や道路清掃等に家族ぐるみで参加することも、地域の中で互いに協力して暮らすことの意義を考えさせる体験となります。

◇学校評議員の皆さんの声から

- ・学校通信をじっくりと読むことができるとうい。回覧だけでなく、手元に遺しておける手立てを工夫してほしい。
- ・友だちなど、気軽に誰かに相談できる人間関係を作ることを進めてほしい。
- ・家で取り組む学習内容や課題を自分で考させ、目標を持たせられると自主性を伸ばすことにつながるのではないかな。
- ・他校(南中・甘楽中)との交流は、生徒の視野を広げる上で意義がある。今後もぜひ継続してほしい。
- ・以前の学習発表会では、生徒が演劇を上演するなど、一人一人に役割があった。自分の役割を実感できるように取組を工夫する必要があるのではないかな。



給食試食の様子

以上が、第一回学校評価の全体的なまとめとなります。保護者・地域の皆様には、今後とも本校の教育活動の充実に向けてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

☆北中Webページが新しくなりました。アドレスは <http://kita-jhs.nc.tomioka.ed.jp> です(以前のWebページは <http://kita-jhs.tomioka.ed.jp> でご覧ください。)。本通信に関するご意見・ご要望等は、生徒を通じて校長(荻野)までお届け下さい。電話・Fax等でも結構です。 Tel 62-3009 / Fax 62-6909